

講座名	<b>【選択必修】いじめ・不登校問題と支援・指導の実践課題</b>		
開講日	平成 28 年 8 月 6 日（予備日 8 月 7 日）		
時間数	6 時間	講座の形態	講義
受講予定者数	40 名	主な受講対象	全教諭
項目	教育相談	細目	(いじめ・不登校への対応を含む)
講座の到達目標	教育相談が核とするカウンセリング的ケアとは何かを理解し、従来の教科指導・生徒指導の枠組みでとらえる「指導者」から、援助者あるいはケア・テーカーとしての教師への転換が必須となっていることを認識する。		
講座の概要	全ての教師にとって教育実践は教育相談と不即不離の関係になっていることを具体例で理解し、学校経営のあり方からも、子どもたちの心の問題に対応する面からも、重要な鍵となる「いじめ」「不登校」を取り上げ、具体的な事例を考察しながら教育相談におけるケアの態度について学ぶ。		
講座の計画	時限	内容	
	1 時限	「教育相談」の役割と意義 教育実践およびカウンセリングと教育相談 発達障がいを含む子どもたちの発達の多様性と教師の役割 現代社会の変貌と子どもたちの生活実態を考慮した相談活動	
	2 時限	学級づくりと教師の教育相談のあり方（1）小学校 同上（2）中学校 障がいのある子どもの教育と教育相談	
	3 時限	教育相談の重要性を示す「いじめ」問題とそのケース（1） 同（2）：小学校の事例とその対応 同（3）：中学校・高等学校の事例とその対応	
	4 時限	「不登校」問題と教育相談 保護者への援助と教育相談 教育相談と地域諸機関との連携	
修了確認の方法	筆記試験の評価による		
成績評価の視点	講義内容のキーワードが理解できているか。「指導」から「ケア・援助」の視点への教師の主体的転換の必要性が自分の言葉で論述できているか。		
備考	1 時限は 90 分 テキスト：広木克行編『教育相談』学文社、1800 円＋税を使用予定。		
担当者	折出 健二(人間環境大学 看護学部 教授)		